

## 今月のことば

憎い人など  
一人もいない  
憎いと思う  
私がいるだけ

(直枉会『直枉カレンダー』)

龍谷大学非常勤講師  
小池秀章 こいけひであき

人には誰でも、「好きな人・嫌いな人」「気が合う人・合わない人」がいるでしょう。すべての人と仲良くすることは、とても難しいことです。

私たちは人を見た時、無意識のうちに、「いい人・悪い人・どちらでもない人」のどれかに当てはめて見えています。しかし、「いい人」や「悪い人」がいるのではなく、『私が「いい人」だと思っている人』や『私が「悪い人」だと思っている人』がいるだけなのです。『直枉カレンダー』の法語に、

「憎い人」など一人もいない 憎いと思う私がいるだけ  
という言葉や

「いい人」「悪い人」私の都合で、いい悪い  
という言葉がありました。胸に突き刺さる言葉です。

私たちは自己中心の心から離れられず、自分にとって都合のいい人を好きとって大切にし、自分にとって都合の悪い人を嫌いといって冷たく当たる。そのように周りの人を、分け隔てをして傷つけてしまっているのです。また逆に、分け隔てをされて傷つけられているのです。

自己中心の心から離れられず、お互い傷つけ合っている状態を、仏教では「迷い」といいます。仏さまは、「いい・悪い」「好き・嫌い」を超えて、「すべての人は、かけがえのない尊いいのちを生きている人である」と見てくださいます。

さっとならない私たちは、仏さまと同じようには見ることができないけれど、仏さまから見た世界を、常に心に留めておきたいものです。

合掌